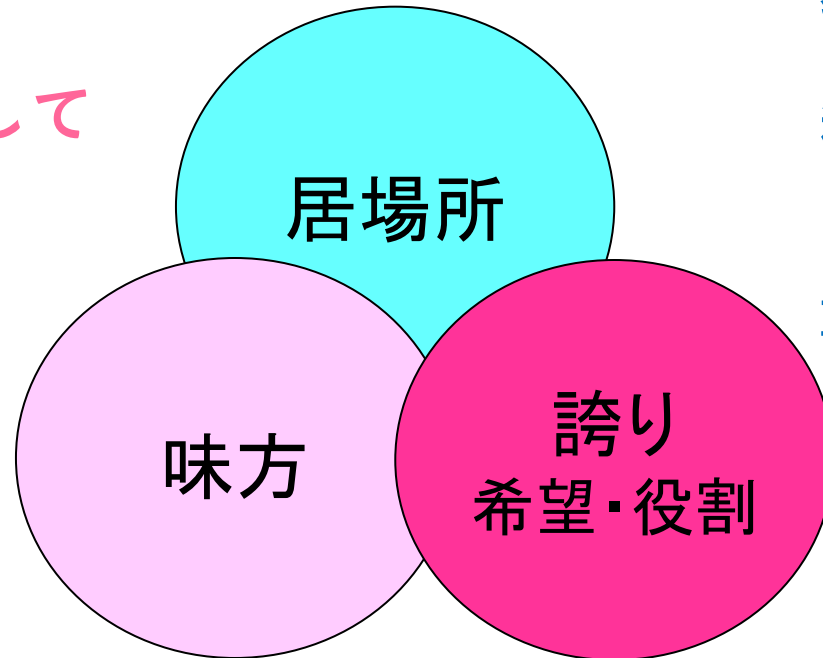


# ジャーナリズム～ホンモノ・ニセモノ、 アカデミズム～ホンモノ・ニセモノ

生命科学の研究者を目指して  
大学の生物系学部へ



教授たちの会話に失望。  
こういう競争に向いていないと自覚。  
科学史・科学哲学へ  
卒論は「生命と熱力学第2法則」 ↓  
↓  
朝日新聞・社会部 ⇒ 科学部 ⇒ ↓  
論説委員室（福祉現場へ）

福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット  
志の縁結び係&小間使い

朝日新聞医学記者 ⇒ 論説委員 (厚生行政担当) ⇒ 大阪大学大学院ボランティア人間科学講座  
⇒ 国際医療福祉大学大学院 医療福祉ジャーナリズム分野

ゆき さん (大熊由紀子)

# 仲が悪い2つの分野その1

## 文系と理系

「私は訊ねました。

『**熱力学の第二法則**についてご存じのことをなにか……』

気まずい沈黙が流れました。

『**シェイクスピア**の作品でお好きなものは？』

という程度の質問をしたにすぎないのに」

文系知識人と理系知識人の越えがたい溝に触れた

C. P. スノーの『二つの文化と科学革命』

## 仲が悪い2つの分野その2 ジャーナリズムとアカデミズム

- 「アカデミズムとジャーナリズムは、  
近代が生み落とした**不仲の兄弟**のようなもの。  
たがいの作法や思考の筋道を信用できないでいる」

ジャーナリストの世界では、

「まるで学者みてえな文章だな」というのは

最大のケナシ言葉

研究者の「これじゃ、ジャーナリストが書いたみたいだ」は

最大の軽蔑の言葉

# ジャーナリズムとアカデミズム 実は、とても似ている・その1

ETV 特集「ルポ 死亡退院 精神医療・闇の実態」

NHK ディレクター 青山浩平さん・持丸彰子さん

准看護師A: すいませんじゃねえよ! 日本語わかんねえのか? オラ!  
看護師B: また泣くのか? 泣いたらゲンコツで叩くぞ、お前! しきりに謝る患者と居丈高な職員。。。右のような映像と声が、日本の精神病院の現実を露わにし、視聴者に衝撃を与えました。取材班は、1498人10年分の患者リストを入手し、それをもとにした緻密な分析を展開しました。たとえば、1498人の78%にあたる1174人が死亡退院であること、カルテと診療内容を照合すると、不必要・不適切な診療が行われていたこと。身体拘束が日常的におこなわれているにもかかわらず、東京都の監査では「A」と評価されていること……。



看護師 なんて弁護士が来たんだよ

1960年代、日本の厚生省は国際常識と真逆な政策を展開しました。精神病院建設奨励策です。精神病院はどこに建ててもよい、一般病院に比べて人手は少なくてもよい、低利で融資する、という政策です。その結果、日本の精神科ベッド数は世界の先進諸国の37%を占めることになりました。不必要で、長い入院期間や虐待などの人権侵害も起こり、国連から勧告を受け続けてきました。しかし、一般医療と異なる密接性に阻まれ、明るみにてない日々が続いていました。1年以上の取り組みで、ここに風穴をあけた粘り強さに、ライバルのテレビ局のジャーナリストからも推薦書が寄せられ、選考委員一致で大賞と決まりました。

『ツベルクリン騒動 明治日本の医と情報』

月澤美代子さん

1ツホは、当時、もっとも注目されていた医学者でした。そのコッ世界各国から5000人以上が集まったベルリンでの国際医学会の物質で処置すると、モルモットは結核に感染しても治るようだ」と語りました。いまでは結核感染の「判定薬」として知られるツ療薬」として過剰な期待を集め、人体に対する結果を含んだ論文の医療施設で入院患者に使われることになりました。しかし、コツカ果は追認できず、死者まで出て、急速に失望感が広がっていき「ツベルクリン騒動」を日本で煽ったのは、新聞や知識に乏しい開業したが、月澤さんは、学術論文だけでなく、官報、商業誌、一般新聞、主からの私信にいたるまで、膨大な資料を読み解き「史実の修復」をした。そして、当時内務省衛生局長だった長与専齋が導入し、時吉が広めたこともつきとめました。月澤さんは、特定の治療法に医師に対して同僚の医師たちが批判をためらう「日本の医療界の観点に、この「ツベルクリン騒動」があったとしています。また、行われた臨床実験に関する内部文書で「死亡」の数が抹消され、が公的記録として残されなかったことも指摘しています。500の厚さ、7000円ほどのこの本を協会賞の対象にすべきかどうかだったが、「新型ウイルス感染症について、政治家が都合のよいように発信するなど問題は続



新薬への熱狂、固執、そして――

の盲信、迎合、追従が、数多くの捏造や、隠蔽をうんできた過程を知ることは、医学ジャー

「ゆりかご15年 いのちの場所」と一連の報道

熊本日日新聞社「ゆりかご15年」取材班

予期せぬ妊娠に悩む少女、一人で出産せざるをえなかった困窮状態の女性。自身で育てられない子どもを、匿名でも預かる「このとりのゆりかご(赤ちゃんポスト)」が開業から15年を迎えました。「ゆりかご」は現代社会のさまざまな問題を映し出す鏡、という思いから、熊日の記者は、バトンタッチしながら、この問題を息長く追いかけてきました。連載は、「ゆりかご」開設の日に預けられ高校卒業と同時に自身の身の上を公表した青年の日々から始まっています。さらに「ゆりかご」に預けた母、「ゆりかご」の子を育てている養父母の声も記事にしています。記者たちが、丁寧に人間関係を築いてきたまものといえるでしょう。新しい取り組みも始まっています。病院のスタッフだけに身元を明かして出産する「内密出産」です。国もガイドラインを公表。他の医療機関にも広がる可能性がでてきました。匿名出産の歴史が長いフランスや、「ゆりかご」のモデルになったドイツにも取材をひろげたこの企画は、「県を超えた影響力をもつ、示唆に富む企画」と大賞に決まりました。



ジャーナリズムとアカデミズム  
とても似ている・その2  
発見する喜び

「寝たきり老人」という概念は日本  
にしかないという発見

当時の厚生省の最大の課題は、西暦2000年  
わが国の寝たきり老人は100万人。手本はない



同じ1985年

←デンマーク  
独り暮らしでも、自宅で暮らし、  
お洒落して外出



↑日本  
「寝たきり老人」呼ばれ  
養老院カット

# ジャーナリズムとアカデミズム

実は、とても似ている その3  
謎を解く喜び・楽しさ

そして、右ページの表が、八九年の介護対策検討会設置を皮切りに日本の各地で始まったこと、変わったことです。これらと、日本も変わる、変えられる、そんな希望がわいてきます。

「寝たきり老人」という言葉が  
日本にしかない  
その謎を解いていくと  
1985年には、絶望的な違い

キャンペーンのかいあって  
1989年から、日本も  
変わりはじめました

図書出版 **ぶどう社**  
東京都千代田区神田小川町3-5-4  
お茶の水SCハウス905  
FAX 03(3)229851  
03(3)229851

●朝日新聞論説委員室 十大熊由紀子

**福祉が変わる  
医療が変わる**

定価 1835円 (5%税込)

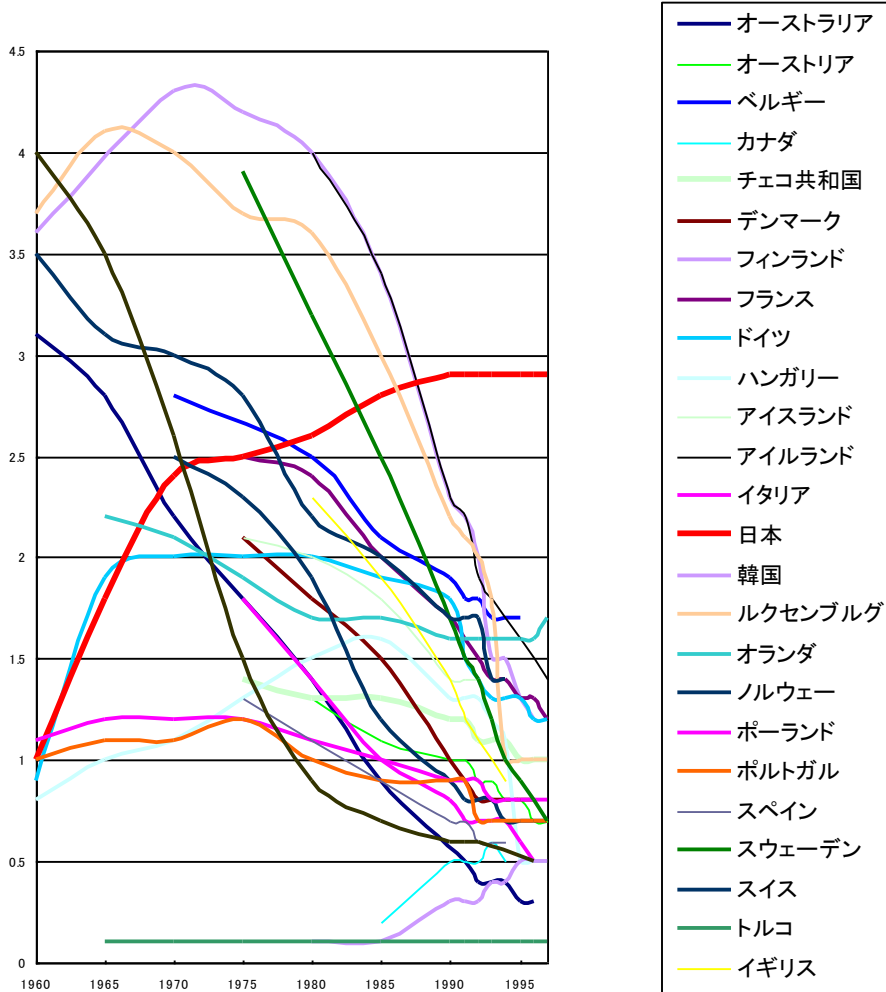
1985年よりキャンペーン開始。まず、違いを報道	
デンマークでは	ところが、わが日本では
寝たきり老人という役所用語がない (リズムある生活→リハビリ効果)	寝たきり老人という失礼な役所用語 (寝かせきり→廃用症候群)
日本療養で50万人のホームヘルパー 24時間体制で、生活の節目に 所得に関係なく、当然の権利 ホームヘルパーの権限も給料も高く 休暇も希望もあり、尊敬される仕事 市町村職員だが、細やかな心くばり	ホームヘルパー2万5000人 週に数回、毎週だけ現れる 低所得世帯が対象、恥と罵う人も ホームヘルパーの給料は安く 男性が寄りつかぬ仕事 公務員ゆえの役所仕事
補助器具センターで、自助具や補助器 具をタイミングよく貸し出し 器具の企画や評価に、障害者が参画 寂しい時にも押しよよいSOSベル	補助器具のハードソフトも低水準 →寝たきり製造ベッド・体をダメに する車いすなどが横行 命にかかわる時だけ押すSOSベル
建築基準法でバリアフリー義務づけ 「高齢者に親切な住宅」建設法 町なかにも個室特養ホーム(プライエム) 限りなく自宅に近い雰囲気	つぶれなければ、燃えなければよいと いう建築基準法→段差だらけの家 殺風景な雑居の特養ホーム。それも 限りなく自宅に近い雰囲気
365日の配食サービス 送迎サービスで買い物や音楽会へ 高齢者・障害者がおしゃれして街に (背景にバリアフリー法) ノンステップバスDAB試験中 小学校区に1つのデイセンター	ボランティアが月1度のお食事会 「在宅」という名の密室 外出できない高齢者・障害者 (背景に段差だらけの店やビル) バリアフルなバスとバリアフルな駅 外出先もなく自宅に閉じこもり
名探偵みたいな市町村の訪問看護婦 入院した時からの退院計画 家庭医という名の専門医が往診	医師の指示でしか動けぬ看護婦 退院してから役所に申請 往診は「命特なお医者様」だけ
治ったら退院。老人病院はない	病院でチューブ食・縛り・薬づけ
「自立支援で社会の支出は減る」 自己決定権、人生の断続性の尊重の ための在宅重視、あわせて財政対策 自助のための惜しみない支援	「福祉充実」は経済の足を引っ張る」 家族とボランティアの無給労働をアテ にした「日本型福祉」と在宅推進 「自助努力」と「根性」を奨励
年次計画をたてて、企業家精神で	単年度主義で行き当たりばったり
現場に権限と責任→無駄が減り創意 役所が、自宅や病院へ向く 「前例破り」を奨励する制度	なにごとにも中央にお伺いをたてて… 市民を役所の窓口と呼びつける 「前例がないからダメ」が口癖
医療費の伸びにストップ おしゃれと笑顔と誇りと美しい映 4世代近居で愛情ゆたかに	社会的入院でとめどなく医療費増大 入れ換をはさずサウツロなまなざし 老夫の老費殺し・老人自殺・人生を捨てた コメー家族の愛はめっちゃくちゃ

日本も国が、市町村が、変わり始めた!	
1989年初夏～	
1989年 厚生省に介護対策検討会 寝かせきりにしない介護・市町村 中心・社会保険方式の費用調達 の可能性などを提言	1990年 ゴールドプラン・寝たきり老人ゼロ 作戦・ヘルパー10万人計画開始
1992年 厚生省「脱お役所仕事の勧め」	1994年 高齢者介護自立支援研究会報告
1995年 24時間巡回型モデル事業	1996年 老人保健福祉部設置最終報告 21世紀福祉ビジョンで新ゴールド
1997年 公的介護保険法成立2000年実施	
1993年 厚生・通産省福祉用具法施行	
1989年 知的障害にグループホーム制度	1990年 江戸川区の住宅改修補助事業
1993年 建設省長寿社会対応設計指針案	1995年 特養ホームの居室1人10.7㎡に
1996年 痴呆グループホームモデル事業	
1989年 デイサービス・デイケア1万計画	1992年 厚生省移送サービスに補助開始 大阪府福祉のまちづくり条例
1994年 建設省がバートビル法 生活福祉空間づくり大綱	2000年 運輸省が交通バリアフリー法
1992年 老人訪問看護ステーション制度	
1988年 老人保健施設登場 1床8㎡	1990年 介護力強化病院登場 1床4.3㎡
1992年 療養型病床群登場 1床6.4㎡	2001年 身体拘束ゼロへの手引き
「福祉は投資・雇用創出」との意見も	
1992年 老人保健福祉計画マニュアル 「家族の介護力に過大な期待を かけぬよう十分留意されたい」	
1989年 高齢者医療福祉推進10か年戦略	
1990年 老人福祉法改正で市町村が主役に ・出前する江戸川区、隅田川の未来工房 ・「前例がないからやる」首長さん登場	
在宅を支援する医師や看護婦、口からの食事 を大切に作る歯科医、歯科衛生士、栄養士 笑顔とおしゃれの特養ホームや宅老所登場	

1982年 高齢化社会をよくする女性の会  
1996年 介護の社会化一万人市民委員会  
1997年 先進市長が福祉自治体ユニット

# ジャーナリズムとアカデミズム とても似ている その4 数字で謎を解く

人口1000人あたりの精神病床



日本の精神病院の身体拘束  
人口あたり  
アメリカの270倍、  
オーストラリアの580倍  
ニュージーランドの2000倍

日本の人口は世界の2%足らず  
精神科ベッドはOECDの37%  
空きベッドに認知症の人を⇒国際常識の対極にあるもの

厚生省が数字をださないの  
OECDデータをエクセルでグラフ化して発見

2000年のことでした

NHK「クローズアップ現代」より





精神病院・認知症の書に九人のジャーナリストが迫る

九人のジャーナリストが迫る

精神病院・認知症の書に九人のジャーナリストが迫る

ISBN978-4-89240-261-6  
C0036 ¥1600E  
ぶどう社  
定価(本体1,600円+税)

大熊由紀子

青山 浩平  
持丸 彰子  
佐藤 光展  
木原 育子  
風間 直樹  
大熊 一夫  
織田 淳太郎  
鹿島 真人  
伊藤 時男

ジャーナリズムとアカデミズム  
とても似ている・その5  
文章化して伝える



本のいタイトルのおかげで、  
厚生省に味方が。。

2025年秋のゲスト依田晶夫先生のスライドから2枚

## 過去の自分への反省を新たな政策に繋げる

入省2年目に配属された老人福祉課では、「要介護老人対策」と「生きがい対策」が施策の柱だった。

「寝たきりになる」原因への疑問も感じず、介護者の負担軽減に向けてサービスの充実に取り組む日々。

数年後に老人保健課に異動し、大熊由紀子さんが「寝たきり老人」は社会によって作られたものと訴える記事に接し、大いに反省。

常識を変えたい

折しも消費税の創設に伴い、高齢者保健福祉推10ヵ年戦略（ゴールドプラン）を策定することになり、若手からも提案が求められた。

「寝たきりを予防する」ための対策を総合的に取りまとめて打ち出し、「寝たきり老人ゼロ作戦」として立案。【1989年】

ジャーナリズムとアカデミズム  
違うところ その1  
心を動かす言葉を考え抜く

# 考え抜いた本のタイトルが、厚生省に「伝染」!!!!!!

## 寝たきりゼロへの10か条（意識改革）

「寝たきりは予防できる」ことについて、保健医療関係者、福祉関係者のみならず、お年寄り自身を含めた国民共通の理解としていくために、「寝たきりゼロへの10か条」を策定した。【1991年3月】

第1条 脳卒中と骨折予防 寝たきりゼロへの第一歩

第2条 寝たきりは寝かせきりから作られる 過度の安静逆効果

第3条 リハビリは早期開始が効果的 始めようベッドの上から訓練を

第4条 暮らしの中でのリハビリは 食事と排泄着替えから

第5条 朝起きてまずは着替えて身だしなみ 寝食分けて生活にメリとハリ

第6条 「手は出しすぎず目は離さず」が介護の基本 自立の気持ちを大切に

第7条 ベッドから移ろう移そう車椅子 行動広げる機器の活用

第8条 手すりつけ段差をなくし住みやすく アイデア生かした住まいの改善

第9条 家でも社会でもよろこび見つけ うち そと みんなで防ごう閉じこもり

# タイトルを考え抜く「流儀」が厚生省の高官に「伝染」

- 厚労省老人保健課長が「寝たきり老人半減作戦」⇒多田部長「**ゼロ作戦に**」
- 厚労省官房政策課課長補佐が「ホームヘルパー5万人計画」⇒吉原事務次官「**10万人計画に**」
- 厚労省吉原事務次官が「シルバープラン」⇒戸井田大臣「**ゴールドプランに**」

そして、介護保険制度へ

## 由紀子さんの旅立ちをお祝いし、新たな縁を結ぶ会

2001.5.12 プレスセンターホール

### 呼びかけ人

#### (当事者ネットワーク)

池田省三(介護の社会化を進める一万人市民委員会)  
勝村久司(医療情報の公開・開示を求める市民の会)  
川内美彦(障害をもつ人の権利リーガルアドボカシー)  
見坊和雄(老いを共に楽しむネットワーク)  
佐々木信行(ピープルファーストをはなしかあおう会)  
佐藤きみよ(ベンチレーター使用者ネットワーク)  
高岡正(全日本難聴者・中途失聴者団体連合会)  
田中徹二(障害分野NGO連絡会)  
多田宮子(さくら会)  
芳賀優子(弱視者問題研究会)  
樋口恵子(高齢社会をよくする女性の会)  
樋口恵子(全国自立生活センター協議会・JIL)  
山崎多美子(全国精神障害者団体連合会・ぜんせいけん)  
山田昭義(障害者インターナショナルDPI)  
渡辺啓二(ジョイプロジェクト)

#### (支援ネットワーク)

池田昌弘(宅老所・グループホーム全国ネットワーク)  
伊藤哲寛(精神医療をよくする市民ネットワーク)  
北岡賢剛(全国地域生活支援ネットワーク)  
熊谷崇(日本ヘルスケア歯科研究会)  
小林洋二(患者の権利法をつくる会)  
菅原弘子(福祉自治体ユニット)  
高橋儀平(福祉のまちづくり研究会)  
高見国生(呆け老人をかかえる家族の会)  
坪井栄孝(女性・こども・命・未来を守る会)  
藤井克徳(共同作業所全国連絡会)  
藤田康幸(医療改善ネットワーク)  
別府宏園(正しい治療と薬の情報)  
星川安之(共用品を広めるネットワーク)  
山岡義典(日本NPOセンター)  
リボン・スナッチ(日本ホスピス・在宅ケア研究会)

#### (自治体)

浅野史郎・宮城県知事  
岩川 徹・鷹巣町長  
國松善次・滋賀県知事  
坂本祐之輔・東松山市長  
潮谷義子・熊本県知事  
福田昭夫・栃木県知事  
光武 顕・佐世保市長  
森 貞述・高浜市長

#### (厚生行政)

伊藤雅治・医政局長  
篠崎英夫・健康局長  
今田寛陸・障害保健福祉部長  
堤修三・老健局長  
大塚義治・保険局長  
辻哲夫・年金局長  
中村秀一・審議官(医療保険担当)  
河幹夫・参事官(社会保障担当)  
山崎史郎・老健局計画課長  
香取照幸・内閣府参事官(社会システム担当)

#### (朝日新聞社)

佐橋木俊郎(論説主幹)  
田辺功(編集委員)  
内山幸男(科学部長)  
臼井敏男(社会部長)  
吉田慎一(くらし編集長)  
川名紀美(論説委員)  
伊中義明(論説委員)  
浜田秀夫(論説委員)  
高橋真理子(論説委員)  
和田公一(社会部)

ジャーナリズムとアカデミズム  
違うところ その2  
文化・分野を繋ぐ

# つなぐために その①えにしのHP 52の部屋

## 医療福祉ジャーナリズムの部屋

### 目次

- ◆◆ようこそ◆
- ◆◆笑数派コラちゃんと笑いの渦に◆
- ◆◆公開講義から生れた恋◆
- ◆◆認知症を見つめ続ける◆
- ◆◆インタビューの作法と極意◆
- ◆◆秋山正子さんと放課後◆
- ◆◆協働創造ニセモノホンモノ◆
- ◆◆盲聾の垣根をこえて◆
- ◆◆フランスの子どもの育ちと家族◆
- ◆◆水俣病と医療情報◆
- ◆◆ゆきこさんの地域包括ケア◆
- ◆◆学び続ける喜びを訪問カレッジで◆
- ◆◆医療安全担当から病院長になって◆
- ◆◆できることからコツコツと◆

## ゆき、えにしネット

福祉と医療、医療と介護をつなぐホームページ



「えにし」の名の由来は、2001年5月、プレスセンターで働いていた際に「新たな顔（えにし）を掲げる」と決まりました。

一人のジャーナリストと顔があるという、ただ、それだけの顔で集ってくださった分野の違う方々の顔に、不思議な、新たな顔が顔され、広がっていきました。

このホームページが、福祉と医療とまちづくり、そして、現場と政策の新たな顔結びにつながることを願って、少しずつの顔を見舞ってまいります。時々顔きに来てくださいますか(〃〃)★

ご意見、ご褒めをお待ちしています。  
info@yuki-enishi.comへどうぞ！

大庭由紀子（前）医療福祉ジャーナリズム  
一橋大学医療福祉学系准教授・専攻  
一橋大学大学院社会学部・専攻

語り・味方・居場所～私の社会保障論	2017/10/10
社会保障と政治の部屋	2019/04/01
福祉医療政策活動の部屋	2021/02/01
福祉・介護保険	2010/09/13
福祉・医療人材とケアの質の部屋	2021/08/09
迷んだ場所でもつりをもって	2018/03/05
雑居部屋の部屋	2013/09/02
ホスピスケアの部屋	2021/08/30
福祉の町・秋田県鹿角町がつくり上げたもの・失ってしまったもの	2014/10/27

認知症の部屋	2021/09/06
自立生活の部屋	2016/10/04
福祉用具の部屋	2019/05/06
精神医療福祉の部屋	2021/09/06
身体拘束の部屋	2020/07/26
障害福祉政策・活動の部屋	2021/08/16

インフォームド・コンセントの部屋	2021/03/22
在宅ケアの部屋	2021/01/11
たばこの部屋	2020/04/13
くすりの部屋	2021/01/25
「子宮頸がん予防」？ワクチンの部屋	2021/09/20
医療事故から学ぶ部屋	2021/03/29
患者体験者と適宜に学ぶ部屋	2007/11/20

優しき読者の部屋・国内編	2020/11/16
優しき読者の部屋・海外編	2020/09/21
被災した方を応援するために	2016/05/09
世直しの人間科学	2008/02/02
100のチェックポイント	2006/01/02
少子化・子育て・教育の部屋	2015/05/17
千葉・ちいき賞	2008/06/23

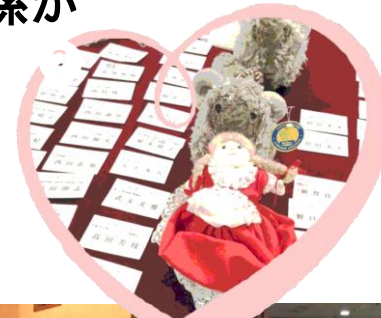
公開講義・倫理と変革の部屋	2021/09/20
医療福祉ジャーナリズム分野 修士・博士コースへのお誘い	2010/12/19
メディアの部屋	2018/03/05
メディアと教育の部屋	2020/04/06
写真帳から (pictures)	2002/01/01
霞からウロコのメッセージの部屋	2013/08/25
シンポジウムの部屋	2014/08/17
「検閲」資料の部屋	2005/12/02
障害差別をなくすための海外資料翻訳の部屋	2007/05/13
卒論・修論・博論の部屋	2020/10/25
世界とつながれば	2015/07/06

らうんじ・えにし	2021/04/05
えにしの方の精神誌	2021/09/20
年賀状から	2021/01/04
えにしの本のエッセンス	2021/08/16
ゆきの部屋	2016/07/04
えにしの人々の組織にリンク	2021/02/08

<https://yuki-enishi.com/journalism/journalism-00.html>

# 「文化ををつなぐ」ために、8つのシキタリをつくりました (コロナでズームになって、「その7」は省力化(^\_-)-☆)

- その1 席は、**籤引き**。恋が偶然の機会から生まれるように
- その2 **パソコン文字通訳、手話、磁気ループ、指点字**を用意
- その3 毎回、**news**が潜んでいます
- その4 どんなに高名な方でも、**講演料ナシ**。それは、“権利”なのだという理屈から
- その5 登壇は「権利」なので、「**一生に一度**」だけ。
- その6 **モットーは前例を破ること**。〇〇先生、〇〇局長という上下っぽい呼びかけをやめ  
**カラちゃん、サルちゃん**と呼び合って、始まる前から水平の関係が
- その7 **縁の下の力持ち 資料配布ボラ 袋詰めボラ**  
**満員御礼判定 & 「えにし結び名簿」ボラ**  
**映像配信ボラ プログラムづくりボラ 売り子担当ボラ**  
**受付・ご案内担当ボラ 幹事長・事務局長ボラ**etc. etc.
- その8 **スポンサーなし**



つなぐためにその②  
えにしを結ぶ会



たとえば、  
えにし集い2013  
認知症のお二人  
シゲさん、マサさんのトークに  
夜の部パネリストの副大臣も感動!!!!!!  
国会の委員会でも話題に



プログラム

13:00 開会 プレスセンターホール

13:05 ~ 14:45

第1部 濃縮シンポジウム

「住みなれたまちで、老い・障害・病気・認知症と仲良く暮らすために」

- ☆ 認知症で癌の人も受けとめるホームホスピス「かあさんの家」の市原美穂さん
  - ☆ 日本で初めて施設を解体した霊仙の田島良昭さん
  - ☆ 「新しい地域医療の構築」に取り組む日本医師会長の横倉義武さん
  - ☆ ユニバーサルデザインを熊本県政の理念に習えた、いま、日本社会事業大学理事長の潮谷義子さん
  - ☆ 「住みなれた地域で自分らしく」を掲げる厚生労働省老健局長の原勝則さん
- コーディネーター：野澤和弘さん（毎日新聞論説委員）

14:45 ~ 15:15 ♪ えにし結びたい・む ♪

スクリーンには、「コンボ」や「クッキングハウス」の統合失調症の方々の笑顔の写真、ALSの記者の活躍などを次々と

15:15 ~ 16:30

第2部 立体シンポジウム

「冤罪をつくる構造～警察官・検察官・裁判官、そしてメディア」

- ☆ 「ストーリー」通りの供述調書をつくられた選手の二階堂基一さん
  - ☆ 「日本一の福祉のまち」をつくったことで知られた秋田県旧鷹巣町長の岩川徹さん
  - ☆ 冤罪で囚われの身になった村木厚子さんと、支えきった太郎さんご夫妻
  - ☆ 村木さんを救い出した敏腕弁護士・弘中惇一郎さん
- コーディネーター：大熊一夫さん（ジャーナリスト・元大阪大学大学院教授）

2013.4.27 SAT.

ことしもまた、新たな縁(えにし)を結ぶ会 '13!

16:30 ~ 18:00 ♪ 長めのえにし結びたい・む を夜の会場のそばで♪

18:15 ~ 21:00

第3部 大討論会

内幸町ホール

「日本にも、本格的な認知症の国家戦略を!!!」

- ☆ 若年認知症のご本人、佐藤雅彦さん&中村成信さんの掛け合いトーク
  - ☆ 認知症ご本人が政策の成果を評価する「京都方式」をつくり、ことしも1000人を一堂に集めた森俊夫さん
  - ☆ デンマークに学び、認知症コーディネーターを386時間の実のある研修で8期76人誕生させた大牟田の大谷のみ子さん
  - ☆ 認知症の母上を自宅で看取った東京都医師会長の野中博さん
  - ☆ 認知症施策5カ年計画（オレンジプラン）を推進する厚生労働省の副大臣・樹屋敬悟さん
  - ☆ 共生ケアの元祖、富山の「このゆびとまれ」の惣万佳代子さん
  - ☆ 認知症の人の地域での暮らしを応援する佐賀県知事の古川康さん
- コーディネーター：町永俊雄さん（元NHK福祉ネットワークキャスター）

「あなたの大切な方も、一緒にどうぞ」という、パーティ招待状

性的マイノリティ～アメリカで、イギリスで、カナダで

健太郎さんへ

武田裕子（医師・医学部教員）

つぶさにお話しされるのには、つらい部分もおありだったと思いますが、ご自身の経験を分かち合ってください、率直なお気持ちをお聞かせくださってありがとうございました。

私は医師で、1990年から約5年間米国ボストンの病院で内科研修を受けました。当時は、まだHIVの治療が今ほど確立しておらず、多くのAIDS患者さんの診療にあたりました。パートナーや家族に見守られて亡くなったかたも少なからずおられました。

パートナーがHIVと診断されたとき、もうお一人は罪悪感に苦しむというのは、研修で最初に学んだことの一つでした。

## 「令和7年度東京都と大学との共同事業」動画教材へのリンク申し込みフォーム

「性自認・性的指向にかかわらず安心して受診できる医療環境構築」に向けた動画教材を作成しました。医療関係者に限らず、教育・福祉・行政・企業の方など、幅広くご活用いただけます。

つなぐためにその③  
大学院で公開講義

具体的には、他の団体の方々とも協力して、メディア等を通じ、企業や社会、政治などに対し、国内外における性的マイノリティーの状況を知ってもらうための広報や啓発活動を行います。そして、同性結婚法の成立に向けた働きかけを行います。東京オリンピックが開かれる2020年を当面の目標にしています。

すでに世界中の多くの先進国、新興国で同性結婚が認められつつあります。日本が取り残されるべきではありません。



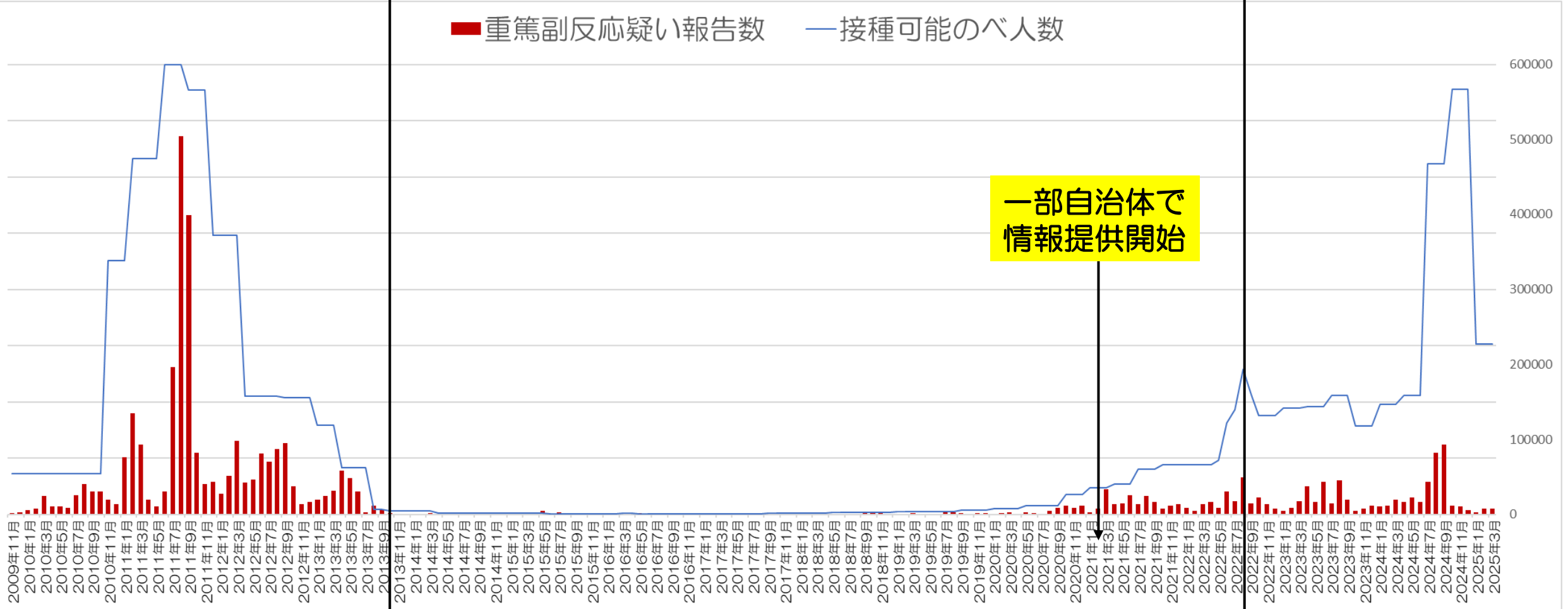
Dear Yukiko , Thank you for mail and the nice picture of the three of us. It was a pleasure meeting you, and fascinating to learn about your interest in Denmark. With my best wishes,

A. CARSTEN DAMSGAARD AMBASSADOR OF DENMARK TO JAPAN (写真左、右はパートナー)

接種勧奨の中止

接種勧奨の再開

■ 重篤副反応疑い報告数    — 接種可能なべ人数



つなぐために④  
えにしメール 18カ国 3000人を

# 2013年5月の第1回副反応検討部会に提出された 全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会資料

24例の重篤症例

カルテ添付の  
実名資料

このうち3分の1の  
7例しか厚労省は  
把握していなかった  
矢島局長が積極勧奨  
中止にふみきった  
のは、それを深刻に  
受けめたためでした

番号	最終接種年齢	接種日	回数	発症時期(最終接種からの時間)	サ/ガ※	主訴	備考(医療機関における診断等の記載)	企業または医療機関からの報告
1	10代	2012/8/7	1	4日	ガ	蕁麻疹、咳、眼瞼痙攣、不随意運動、疲労感、過呼吸	脳波異常なし。	
2	10代	2012/5/26	1	28日	ガ	頭痛、歩行困難、眩暈、激やせ	初期は自家中毒とされた。歩行可能まで回復。	○
3	10代	2013/4/13	1	2日	サ	蕁麻疹、微熱、目の充血・かすみ、口の中や周りの痛	血液検査で炎症反応強い。	○
4	10代	2012/3/3, 4/2	2	翌日	サ	頭痛、嘔吐、関節痛、摂食不良、ADL低下	ワクチン接種後多発神経炎	
5	10代	2012/9/29, 12/22	2	59日	ガ	足のだるさ、痛み	複合性局所疼痛症候群	○
6	10代	2011/5/2, 6/14	2	11回目後10日	サ	四肢、背中など全身を移動する痛み	線維筋痛症は否定的。「難治性疼痛」	○
7	10代	2012/8/18, 10/17	2	3日	ガ	頭痛、過呼吸、歩行困難、腰痛	電話?相談で小脳失調あるいはADEMと指摘。	
8	10代	2011/9/16, 10/19	2	不明	サ	激しい頭痛、頻繁に起きる解離、体中の痛み、味覚障害、羞明、膝下のアロディニア、歩行障害など。	入院三回(詳細不明)	○
9	10代	2012/6/20, 2012/8/20	2	96日	ガ	歩行困難、四肢関節痛、日光過敏、筋力低下、頭痛、腹痛	膠原病は否定的/胸郭出口症候群(治療するも無効)/若年性特発性関節炎	
10	10代	2012/8/16, 10/15	2	8日	サ	足首の痛みと腫脹あり、ひざ、肩の順に次々と関節が腫れる。歩行困難。	関節型若年性特発性関節炎(メトレキサート無効・シリズマブ投与)	
11	10代	2011年3月、5月	2	1回目後・不明	不明	強い頭痛発作	慢性群発頭痛	
12	10代	2011/8/8, 9/6, 2012/2/7	3	不明	サ	歩行不能、左肩・胸痛、握力低下	大学病院で検査するも不明とされる。	○
13	10代	2011/8/5, 9/2, 2012/4/5	3	85日	サ	頭痛、筋痛、発熱、関節痛	SLE(ステロイドパルス施行)	
14	10代	2011/10/15, 12/17, 2012/5/12	3	2回目後13日	サ	関節痛	リウマチ否定的とされる。	
15	10代	2011/4/7, 5/14, 10/22	3	2回目後13日	サ	倦怠感、吐き気、眩暈、嘔声	膠原病や頭蓋内病変は否定的。	
16	10代	2011/9/14, 10/29, 2012/3/30	3	不明	不明	全身の痛み、痺れ、頭痛	MSやリウマチは否定的とされる。	
17	10代	2011/9/17, 10/27, 2012/3/29	3	不明	サ	偏頭痛・感情の起伏激しくなる	小児科・婦人科の診察を受けている。	
18	10代	2011/9/27, 10/30, 2012/3/28	3	19日	サ	突然の下肢脱力、意識消失、呼吸の乱れ、手足のびくつき	睡眠障害、特発性過眠症	○
19	10代	2010/8/9, 9/7, 2011年2月	3	1年	サ	下肢、ひじの痛み、足関節痛	肘部管症候群/膠原病は否定的。	
20	10代	2011/9/13, 10/14, 2012/3/23	3	翌日	サ	手首、足首の痛み、足首・足底の腫れ	甲状腺機能低下症/若年性特発性関節炎	
21	10代	2011/8/7, 11/5, 2012/3/24	3	不明	サ	関節腫脹、運動時痛、微熱	CRP軽度上昇のほかは検査値に異常なし/関節症性乾癬(シクロスポリン内服)	
22	20代	2011/8/4, 9/5, 2012/5/31	3	3ヶ月	サ	発熱、手の痺れ、足のだるさ	頸椎ヘルニア/複数回のMRIで異常なしとされる。	
23	10代	2011/2/19, 3/18, 8/20	3	289日	不明	発熱、意識レベルの低下	プレドニン内服中。SLEの記述有。	
24	10代	不明	不 回	数日	サ	足底感覚異常、眩暈、嘔吐、微熱、脱毛、脱力感、頻	精査するも異常なし。	

# 原告側専門家証人の6人



池田修一 信州大学**名誉教授**



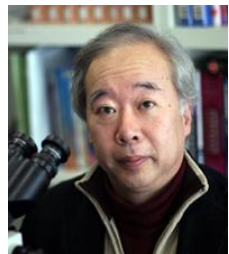
横田俊平 横浜市立大学**名誉教授**



高橋幸利 静岡神経てんかんセンター**名誉院長**



高嶋博 鹿児島大学医学部脳神経内科教授



鳥越俊彦 札幌医科大学病理第一講座教授



椿広計 統計数理研究所**名誉教授・所長**

# ワクチンのせいでなく「心の問題」と説く 被告側専門家証人12人

福岡地裁	東京地裁	名古屋地裁	大阪地裁
<b>園生雅弘医師</b> 帝京大学 神経内科	<b>角田郁生医師</b> 近畿大学 免疫学	<b>笹川寿之医師</b> 金沢医科大学 産婦人科	<b>鴫田夏子医師</b> 慶應義塾大学 小児精神科
<b>畑澤順医師</b> 第二大阪警察病院 核医学・SPECT	<b>中村好一医師</b> 自治医科大学 疫学	<b>中山哲夫医師</b> 北里大学大村智記念研究 所 臨床ウイルス学	<b>三木健司医師</b> 大阪行岡医療大学 整形外科一般・疼痛管理
<b>本郷道夫医師</b> 塩竈市立病院内科非常勤 機能性消化器疾患	<b>住谷昌彦医師</b> 東大病院 疼痛管理学	<b>奥村彰久医師</b> 愛知医大 小児科学	<b>上田豊医師</b> 大阪大学 産婦人科

# このうち金銭授受が法廷で明らかになったのは



三木健司(大阪行岡医療大学・整形外科)

MSDから

訴訟関連業務委託費

合計2300万円以上



本郷道夫(東北大**名誉教授**・総合診療科)

MSDから

訴訟関連業務委託費

合計1200万円以上

うち600万は透明性ガイドラインでも非開示

# 専門家証人2023年5月から12月

池田修一信州大学名誉教授名誉教授

神経難病等の専門家、厚労省副反応治療研究班班長

200名を診察 87名をHPVワクチン副反応と診断

横田俊平横浜市立大学名誉教授 名誉教授

小児リウマチ、膠原病、若年性線維筋痛症等の専門家  
小児科学会会長も。

約150名を診察

高橋幸利静岡神経てんかんセンター名誉院長

小児の難治性てんかん、神経難病等の専門家

60～70名を診察

高嶋博鹿児島大学教授

自己免疫性脳炎・脳症等の専門家

65名を診察

鳥越俊彦札幌医科大学教授

椿広計統計数理研究所所長・名誉教授

# 多様な症状が重層化し、変化する

## 感覚系障害

頭痛，四肢・全身の疼痛，光過敏，音過敏，嗅覚障害，激しい生理痛等

## 運動系障害

不随意運動，脱力，筋力低下，けいれん，歩行障害等

## 認知・情動系障害

倦怠感，集中力低下，学習障害，記憶障害，相貌認知障害等

## 自律神経・内分泌系障害

発熱，月経異常，過呼吸，睡眠障害，ナルコレプシー，発汗過多等

# 自己免疫性の神経障害 (その証拠は)

## ➤ 自己抗体検査

自律神経や認知機能の働きを阻害する自己が有意に増加

高橋P. NMDA型グルタミン酸受容体抗体 (脳脊髄液)

池田P・高嶋P  $\alpha$ 1アドレナリン受容体抗体等(血清)

## ➤ SPECT検査

大脳辺縁系、脳幹部、視床下部等の血流が有意に低下

池田P・高嶋P・高橋P

## ➤ 免疫治療

免疫抑制剤・血漿交換療法で一定の効果

# 危険なHPVワクチンの成分

## ➤ 免疫を過剰に活性化

抗原であるL1-VLPに強い免疫原性あり(実験論文)  
アジュバントでさらに増強

サーバリックス : AS04 自然感染の10.5~27倍

ガーダシル : AAHS アジュバントなしの100倍

## ➤ 分子相同性

L1-VLPとヒトのアミノ酸配列の部分一致多数



「免疫寛容」の破綻(自己免疫)

# つなぐために その⑤ マスメディアで ところが。。。

毎日新聞の  
月1回の連続コラム  
私の社会保障論」  
で検診の大切さを

「大切に育てた娘が、注射で青春も奪われて、痛みにもがいて、とんだんひどくなる。顔を歪めて、呻く娘。「メンネと私は言いつけていた。あなたを将来ガンにさせたくなかった。その代償があまりにも高い」  
東京都杉並区から「中学入學お祝い」で「子宮頸がんワクチン」接種を知らされ、娘に勧めてしまった母が悔恨の気持ちをこめてつづる「みかりんのさきやき」というブログの一節です。  
この少女だけではありませんが、「元氣そのものだったのに、ある日を境に、陸にあげられたサカナのようにけいれんする、痛みが体のあちこちを移動する。病院を訪ね歩いて、精神病的なものでは」といわれて傷つく。そんな経験をした家族たちがインターネットで検索して、このブログにたどりつき、あまりに似た経験に驚き、3月25日に「全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会」を発足しました。  
「看病で手いっぱい」の家族たちを支えようと、首都圏の市議、区議が支援の傘をひろげ、日野

くらしの  
明日



## 受けやすい検診の確立を

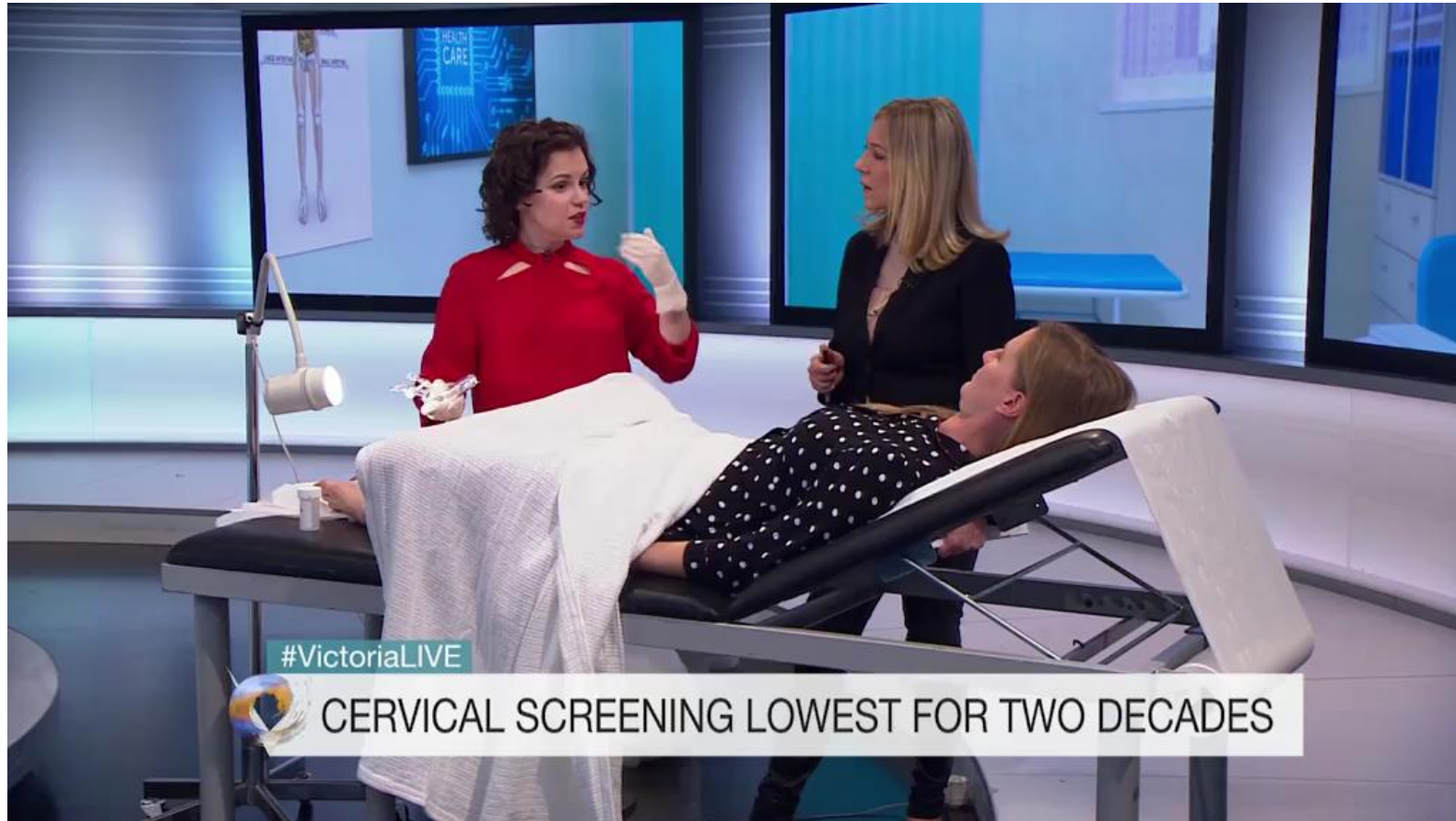
子宮頸がんワクチン被害

私の社会保障論 大熊 由紀子 国際医療福祉大大学院教授

市議の池田利恵さんが事務局長と連絡先を引き受けました。電話番号(042・594・1337)が公開されると「わが子もそうではないか」と、全国から電話が殺到しています。  
「子宮頸がんは死を招いたり、子宮を摘出したりにすることになる怖い病気だが、ワクチンで防げるという。5万円と高価だが、期日までを受ければ無料といわれ、それならわが子に受けさせよう」と考えてしまったので「一。こう親たちは嘆きます。厚生労働省に設けられた専門家の検討会でも先日、2種の子宮頸がんワクチンの副反応が、インフルエンサワクチンの38倍と26倍、重篤な副反応は52倍と24倍にのぼると報告されました。にもかかわらず、このワクチンを国の定期接種とする法が3月末、国会で成立しました。子宮頸がんは、検診で早期発見すれば命も子宮も失わなくて済みます。ただ、日本のように、男性医師の前で足を広げねばならないことの多い検診法では、女性に検診をためらい、検診率

は20%にとどまっています。80%に近い英国では、訓練を受けた看護師が、診療所の普通のベッドの上で実施しています。  
このような安全で確実な検診方法を検討することなく、また臨床試験段階のものを、十分な説明もなく少女たちに接種するのは中止すべきだと考えます。  
このワクチンの公的支援が浮上した時、厚生省の担当官は「長期的な効果や副作用の情報が十分ではない」「効果を過信して子宮がん検診を受けなくなった大変」と警鐘を鳴らしていましたが、それが、政治主導と社会的なキャンペーンの中で押し切られたのでした。  
副作用と薬害の違い  
どんな薬にも副作用(副反応)はあるが、効果が不利益を上回り、それに勝るほかの手段がなければ、受け入れて治療や予防に使うことになる。薬害は、利益と不利益を比較する科学的データが曲げられたり、副作用情報が隠されたりした結果、被害が拡大すること。副作用は薬が起すすが、薬害は人が起す。

産婦人科の女性にとって恥ずかしい検診台にのらなくてもいいように  
イギリスでは女性の看護師が普通のベッドで検診  
BBCのスタジオで紹介



# つなぐためにその⑥ ユーチューブ

激しい頭痛、黒板の字が読めなくなって休学した天草の高校生、相原咲紀さん。

娘のためと、接種を勧めてしまった母・美紀さんの苦悩と後悔。

咲紀さん、録画も激しい頭痛が、翌日はさらに

<https://www.youtube.com/watch?v=sflpfZwNtZQ>



講師 乃木坂が笑いの渦に！  
笑数派コラアゲんはいごうまん さん  
2025.6.5 乃木坂スクール



繋ぐために⑦  
公開講義  
恋の縁結びも(^\_-)-☆

赤坂キャンパス



講師 厚生労働省 事務次官  
伊原 和人さん  
2025. 6. 26 乃木坂スクール



赤坂キャンパス

2月の統合失調症学会の  
テーマになった  
当事者研究と  
体験ルポ芸人を縁結び(^\_-)-☆



# 公開講義で 海外と日本を 縁むすび

2024.11.13 ゆきゼミ

講師 フランス・パリから講義  
安發 明子さん

フランスの子どもと家族



たとえば、  
フランス・イギリス・  
デンマーク・スウェーデン・  
フィンランド、アメリカ、  
そして、ケニアから



ゆきゼミ2022年7月7日 片岡豊さん

# 放課後でつなぐ

同じ愛媛なのに  
初対面の 元厚生大臣 ヤスさんと  
精神病院をなくした院長さんと



KANPAI!

“Akkyの講義に癒された放課後”

2025.5.1 @東京・赤坂



つなぐために

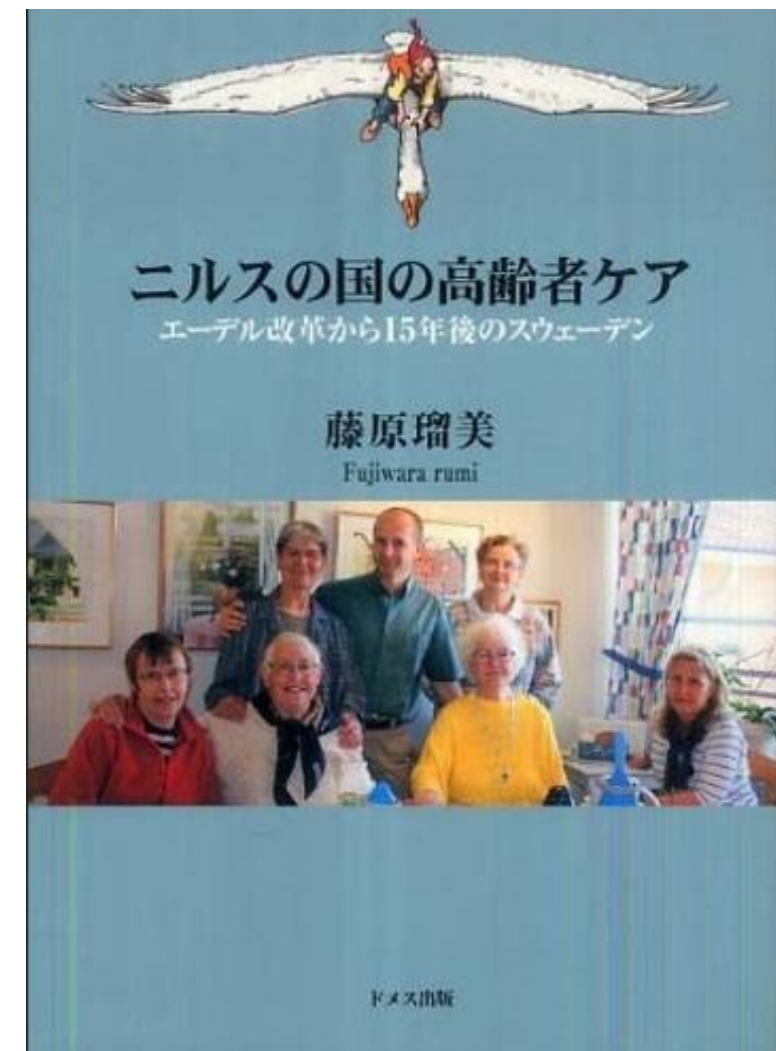
つなぐために⑧  
ジャーナリズム分野の

修論・博論で  
少しだけ、ご紹介します

# 厚生労働省に影響を与えた

## スウェーデンの「過去」と「いま」

「70年代末まで、精神病院に認知症の人が患者として収容され、写真の両端の人のように、縛られている人もいました」  
1992年にエーデル改革。このような風景は皆無に



ジャーナリズム分野  
博士第1号  
藤原瑠美さんの論文が本に

# ライフヒストリーで「自立概念」を深める

## 自立とは

### 伝統的な自立観

経済的、職業的な面での自立、または非依存、介助不要という意味での自立。

障害者のリハビリテーション=訓練を正当化、施設収容主義を正当化。

### 新たな自立観としての自立生活思想

自立とは自己決定である。

同時に、自分で決めたことへの責任も障害者が負うということを含んでおり、当然、失敗したり危険を冒したりする権利もこの自立の考え方には込められている。

### \*エド・ロバーツ 「依存による自立」

衣服の着脱に1時間を要するものがあるとすれば、その人に対して介護人を派遣して10分で着脱を終わらせ、残りの50分をより人間的に有意義な時間を作り出していくようにする。

5

## 研究目的

谷口さんの59年の足跡を伝記にまとめ、障害をもつ人の自立生活実現のためにどのような当事者アドボカシー活動をしたか明らかにする

〈メッセージ〉

- ・自立して生きることの大切さと喜びを伝える
- ・重度の障害があっても自分で選択し、自分で決めて、自分の人生を生きることが出来る。

〈読者〉

障害をもった人 家族 ⇒自分の人生を肯定し幸せな人生を送ることができるようになる

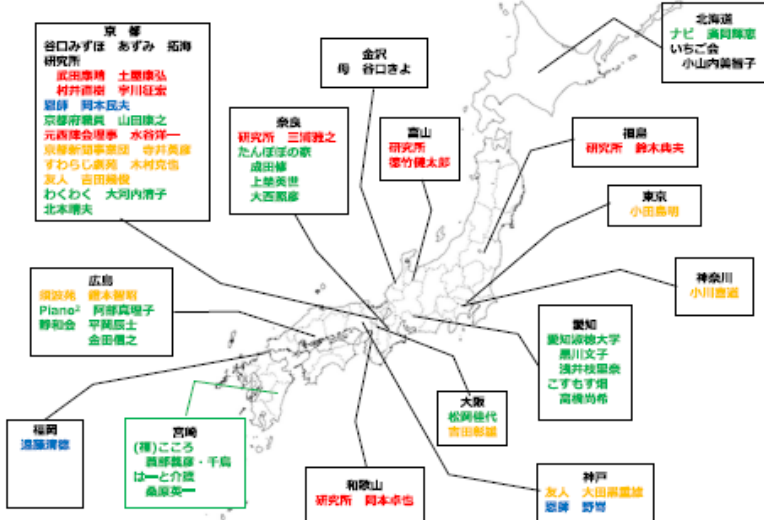
障害をもたない人 ⇒ 人生を見つめなおすきっかけとなる障害や自立への理解が深まる

自分と違う個性を認めあえる、誰もが夢をもって暮らせる共生社会の実現につながる

6



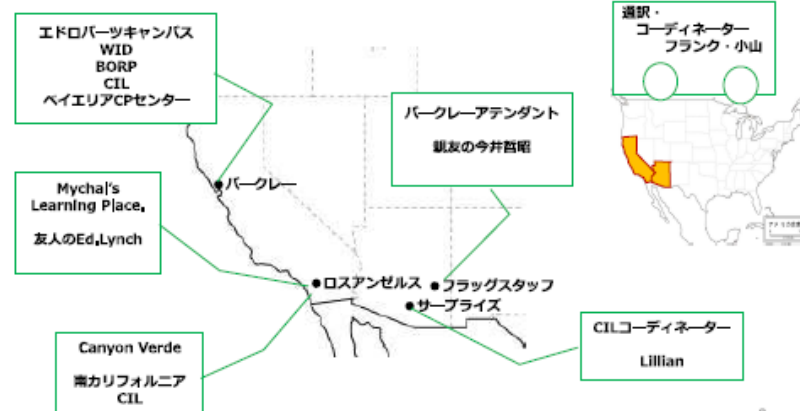
## 各地のインタビュー協力者



7

## アメリカのインタビュー協力者と視察先

5/6~13 バークレー留学時代の足跡をたどるインタビュー&「谷口明広と行くアメリカ研修ツアー」視察先を訪問



8

障害福祉の現場から  
鈴木隆子さんの  
修士論文



平岩千代子さんの修士論文  
ナース・介護職に読まれて  
2刷りに  
国際医療福祉大学附属病院  
や

聴講してくださっている  
東北大臨床教授山崎英樹doctorが  
仙台の地域で「教科書」に

## 目次

イントロダクション——認知症になっても、最期まで身も心も縛られない暮らしを求めて(平岩千代子)

田中とも江——縛らない看護は私のライフワーク(平岩千代子)

小藤幹江——抑制することは看護の本質にそぐわない(平岩千代子)

永田久美子——見えない拘束からの開放をめざして(平岩千代子)

前例を超え、前例を創ったナースたち(大熊由紀子)



## ジャーナリズム～ニセモノが発生する仕組み

子宮頸がんワクチンの被害をマスメディアが報じないワケ

記者クラブ 横のものをタテにする・現場に行かない

被害女性に会いにいかない

裁判にも行かない

省内の検討会にさえ、行かない

その背後に、製薬会社⇒政党⇒厚生労働省

「新オレンジプラン」が毒入りに変更されたのに

マスメディアが賞賛したワケ

記者レク以後に、与党から精神病院を重視せよと加筆要請

見え消し消し版を入手した共同通信以外は、原案を紹介・賞賛

アカデミズムは、  
新しい概念・発見・法則で社会を変える

ジャーナリズムも  
新しい発見・調査で社会を変える

そのために、  
言葉をつくり  
言葉を退治する

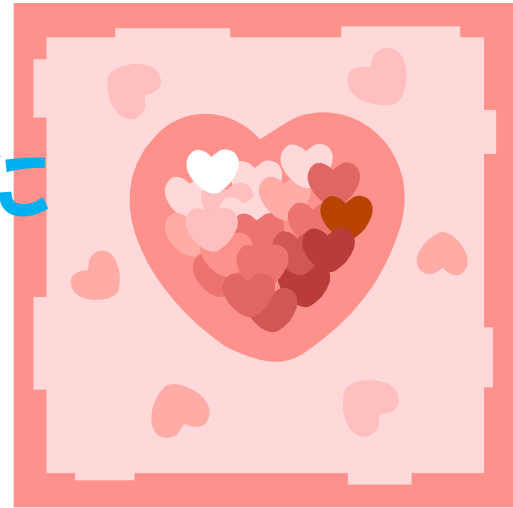
**マスメディアが書いてくれないので、  
以下の方法を編み出しました**

★「えにし」のHP

★「えにし」メール

★「えにし」を結ぶ会 2025年に25回目

☆席は籤引き、あらたなえにしを結ぶために



プレスセンターでリアル開催のときは  
手話通訳/パソコン文字通訳/  
磁気テープ/指点字/保育サービス  
ズーム開催になってからはパソコン文字通訳だけに。

**志の縁結び係&小間使い ゆき**

# 言葉をつくる・言葉を退治する経験

つくった言葉。広めた言葉。。

寝たきり老人⇒「寝かせきり」にされた犠牲者

**善玉** コレステロール

かかりつけ薬局 日本薬剤師協会会長さんとの会話から。

終末期医療⇒人生最終段階の医療と福祉（厚労省の検討会で奮闘）

⇒**人生の最終章**

聴講してくださっている**花戸貴司doctor**がつくったことば

抑制⇒**縛る**（八王子の上川病院がカルテに書くようになったことを広めました）

**まだ、退治できていない言葉**

認知症**治療病棟**/認知症**患者**/**健常者**/特養待機者/**受け皿**/徘徊

**国民負担率**⇒**国民支えあい率**へ

